

## インドネシア道路工学研究所との研究協力に関する協定を締結

寒地地盤チーム

平成26年10月15日、寒地土木研究所とインドネシア公共事業省道路工学研究所(Institute of Road Engineering : IRE)は、泥炭地盤における道路建設技術に関する研究交流および協力の促進を目的とした協定を締結しました。

この協定は、寒地地盤チームの泥炭地盤に関する研究成果をインドネシアの熱帯性泥炭地盤(トロピカルピート)に関する諸問題の解決に役立てようとするとともに、新たな研究テーマやフィールドの開拓についても期待されるものです。

### 1. IRE の概要

首都ジャカルタから200km程離れたバンドゥン市にあるIREは、インドネシア公共事業省の研究機関で、道路事業に関する研究、技術開発ならびに基準類の策定を担当しており、地盤工学、材料工学、橋梁工学、交通工学の4つの研究部門を持っています。

### 2. 協定について

#### 【研究協力の分野】

- ・泥炭地盤の道路建設技術に関する研究

#### 【研究協力の形態】

- ・技術的な情報、資料、刊行物などの交換
- ・講師および研究者の相互訪問
- ・共同ワークショップ、セミナーなどの開催

協定の調印は、先にIREのHerry Vaza所長が協定書に署名を行い、郵送の後、当研究所の池田憲二所長が署名を行いました(写真-1)。

### 3. 今後の展望

IREと寒地地盤チームは、平成25年10月に意見交換<sup>1)</sup>、平成26年6月にセミナーとワークショップの開催<sup>2)</sup>など、泥炭地盤に関する研究交流を行ってきましたが、今後は本協定に基づき、より積極的に交流を行い、インドネシアの道路整備を技術的な面から支援する予定です。



写真-1 当研究所における署名



写真-2 IREのEddie主任研究員(右)の現場視察(泥炭を手にとっての議論)

協定締結直後の10月30日～31日には、IREのEddie Sunaryo主任研究員が、早速、寒地土研を訪れ、今後の研究計画の打合せや泥炭地盤対策工の施工現場の視察を行いました(写真-2)。なお、本現場視察には、札幌開発建設部岩見沢道路事務所の快いご協力を頂きました。ここに深く謝意を表します。

#### 参考文献

- 1) 山梨高裕、林宏親：インドネシア技術者との泥炭地盤に関する意見交換、寒地土木研究所月報 No.729、pp.55-57、2014.
- 2) 西本聡、林宏親、橋本聖、山木正彦：インドネシア道路工学研究所(IRE)における泥炭地盤に関するセミナーおよびワークショップ報告、寒地土木研究所月報 No.736、pp.42-45、2014.

(文責：林 宏親)